



「生活 Can do」を用いた生活に関する日本語教育プログラムのための 日本語教師育成研修 募集要項

「日本語教育とわたし」 —自己表現がうまれることばの学びをともに考え実践する—

山梨県では生活者のための日本語教育プログラム（「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラム、以下「やまなしプログラム」という）を開発しているところです。「やまなしプログラム」は、外国にルーツのある住民が自立した言語使用者として自分らしく生活できるようになることを目的に、日本語教室の参加者同士で「ことばの活動」を行う実践プログラムです。

本研修では「やまなしプログラム」における日本語教師（オンライン基礎日本語教室教師）の在り方を研修に参加する皆さんとともに考え、ともに教室で実践していきます。対等な関係性のもと、意見交換し、考え合い、学び合うことで、自立した日本語教師を育成するための研修会です。なお、本研修は、早稲田大学名誉教授、細川英雄さんを講師に迎えた貴重な機会です。

1. 研修概要

1) 目的

「やまなしプログラム」の理念や「自己表現がうまれることばの活動」の考え方を共有する、自立した日本語教師の育成とそのコミュニティ形成

2) 日程

2025年11月～2026年3月（土曜日14:00～16:00） 全6回

（2026年1月からはオンライン基礎日本語教室の教師としてご担当いただきます）

3) 形式

オンラインミーティング（ZOOM 使用）

4) 内容

- 第1回 11月8日(土) 「私」の日本語教育への関心について
「やまなしプログラム」の目的、目標とオンライン教室について
- 第2回 11月15日(土) 研修への参加動機について意見交換する
- 第3回 11月15日(土)
～11月28日(金) 実践動画の視聴
- 第4回 11月29日(土) 視聴した実践動画について意見交換する
- 第5回 12月6日(土) 視聴した実践動画について意見交換する
オンライン基礎日本語教室のプログラムについて
- 第6回 3月7日(土) 実践のまとめ(実践振り返りレポートの作成)
全体の振り返りと来年度の地域日本語教室について

5) 研修費用

無料(通信環境に係る費用は自己負担)

6) 参加要件

下のいずれかに当てはまる方で、オンライン基礎日本語教室に教師として担当できる方

- ① 登録日本語教員
- ② 日本語教師としての要件¹をお持ちの方(経験は問いません)

※日本語教育について勉強中で研修参加をご希望の方はご相談ください

〈オンライン基礎日本語教室スケジュール〉

2026年1月～3月上旬 週3回(火・水・木 19:30～21:00)、全26回

※オンライン基礎日本語教室は3クラス開講予定、1クラス26回を複数の教師が交替で担当します
(26回全てに教師としてご担当いただくということではありません)

¹ 次のア～エのいずれかを満たす者

ア. 大学又は大学院で日本語教育専攻もしくは副専攻を履修修了かつ当該大学を卒業又は大学院の課程を修了した者 イ. 学士の学位を有し日本語教師養成講座(420時間単位以上)を修了した者 ウ. 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者 エ. ア～ウと同等以上の能力がある者

〈オンライン基礎日本語教室について〉

テキストを使用したクラスではありません。

学習者一人ひとりが「自身について語る」ことばの活動を行い、それぞれが達成の証として成果物を作成し共有します。

7) 募集人数

7名まで

8) 募集期間

2025年10月6日(月)～10月27日(月)

9) 応募方法

次のフォームよりお申込みください

<https://forms.gle/zBNPb4ZEWubcoRJJ8>

2. その他(注意事項等)

【研修に関わること】

- 1) 本研修は、日本語の教え方を習得することを目的とした研修ではありません。
- 2) 研修では、「ことばの活動」について考え、参加者同士での対話を通じて、活動を協働的に構築していくプロセスを重視しています。対話による学び合いと実践を往還し、自立した実践ができるようになるための研修です。
- 3) 研修では、自らの考えていることや意見交換を通じた気づきを整理・言語化することで、主体的かつ協働的に参加していただくことを前提としています。
- 4) オンライン基礎日本語教室では、参加者それぞれの達成を成果物としてまとめるとともに、教師自身の実践活動を振り返る実践研究レポートを提出していただきます。

【教師業務に関わること】

- 1) オンライン基礎日本語教室教師としてご担当いただく場合は、山梨県地域日本語教育推進事業の基準に基づき報酬をお支払いします。
- 2) 研修終了後は「やまなしプログラム」を活用した地域日本語教室(市町村主催、対面形式)においても教師としてご担当いただけることを期待しています。

【その他】

- 1) 本研修は「令和 7 年度山梨県地域日本語教育推進事業」（文部科学省所管令和 7 年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業を活用した山梨県の実施事業）の一環で実施します。内容の改善や文部科学省等への事業報告を目的として、研修の様子を録音・録画するとともに振り返りの記録の一部は個人が特定されない形で山梨県及び文部科学省に報告します。また、これらのデータは各種事例発表や山梨県のホームページ等において使用する場合があります。

あらかじめご了承の上、ご応募ください。

- 2) 参加が難しい研修日程がある場合やオンライン基礎日本語教室を担当するにあたり不安な点がある場合は、応募前に必ずご相談ください。

3. 課題図書

研修に先立ち、下記の文献を事前にお読みください。研修内容の理解を深めるための準備課題となります。

細川 英雄（監修）、マルチェッラ・マリオッティ、市嶋 典子（著）『「活動型」日本語クラスの実践 ―教える・教わる関係からの解放―』（スリーエーネットワーク、2022）

4. 問い合わせ、事前相談

メール：y-nihongo@yia.or.jp TEL：090-7705-7513

山梨県地域日本語教育総括コーディネーター 古屋 玲子

以上